

千葉西シニア2年ぶりV

マリンスカップ

千葉ロッテマリンスカップ2016千葉県中



2年ぶり2度目の優勝を果たし、笑顔を見せる千葉西リトルシニアの選手たち

学連式野球大会最終日は26日、QVCマリンスカップで準決勝、決勝が行われ、決勝は千葉西リ

トルシニアが3-0で八千代中央リトルシニアを下し、2年ぶり2度目の優勝を果たした。

千葉西は三回に池水の二塁打で先制し、その後は途中出場の大野が2打点を挙げた。投げては森本、倉内の継投で無得点に抑えた。

大会は2010年から始まり、ことしはリトルシニア、ポイズ、ポニー、ヤングのリーグから計50チームが出場した。リトルシニア勢が第一回から優勝している。

▽準決勝
千葉西リトルシニア
10400000015
010000214

▽決勝



千葉西リトルシニア一八千代中央リトルシニア 5回表千葉西1死三塁、大野が中前適時打を放つ=QVC

(千) 森本、伊場、倉内、敦直

吉村
▽三塁打 池水(千)

▽二塁打 上高(千)

八千代中央リトルシニア
0020010003

0000000000

依香リトルシニア

(八) 木崎、山崎

(依) 藤田、堀井、京極

▽三塁打 松浦(八)

▽二塁打 堀井、吉(以上八)

▽決勝

千葉西リトルシニア
0010101013

0000000000

八千代中央リトルシニア

(千) 森本、倉内、敦直

(八) 伊場、藤田、山崎、堀井

▽三塁打 大野(千)

▽二塁打 池水、自(以上千)

堀井(八)

努力結実、有終の美

有終の美だった。千葉西リトルシニアの池水佑斗主将は「気持ちを一気に戦った結果、最高です」。スタンドに向かって3度万歳を繰り返して喜び合ったナインの顔は、どれも輝いていた。

三回に池水の左越え二塁打で先制し、大きかったのは五回の追加点。四回が終わり5分間の休憩中に気合を入れ直し、再スタートした直後に突き放した。内田真翔の二塁打を起点に、1死三塁で代打の大野駿が中前適時打で応えた。

相手投手とは少年野球の最後の決勝でも対戦し本塁打を打っていたという大野。いいイメージで打席に立ち「チャンスで打てて良かった」。七回にもダメ押しの時三塁打を放ち、途中出場ながら2打点の活躍だった。

ソフトバンクの奨励や、今夏の甲子園に出場した木更津総合高の小池航貴、大沢翔らがOBの名門チーム。だが、この3年生は全国出場を逃すなど悔しい思いばかりしてきた。その分だけ、喜びも倍増する頂点。山本哲士監督は「真面目にやってきた代。最後にご褒美をくれた」とうれしそうにナインをたたえた。